

エコドライブの認知度に関するアンケート結果

1. 実施概要

平成19年9月23日（日）～10月15日（月）のうち、のべ6日間、東京、川崎、名古屋、大阪のイベント会場等で、用紙にその場で記入後、調査員により回収する方式で実施

2. 結果概要

(1) 回答者について

①男女比

回答総数1001のうち、性別は、男性519人（52%）、女性450人（45%）、無回答32人（3%）であった。

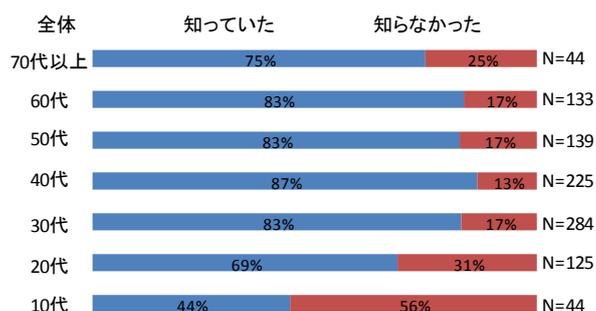
②普段の車の使い方

「休日の買い物、レジャー等の自家用車の利用」が、46%と約半数を占め、次いで、「日々の通勤や買い物等での自家用車の利用」が22%を占めた。業務用途では、「運送・配送などの業務におけるバス、トラックやバンの利用」（1%）、「営業などの業務における乗用車・バンの利用」（3%）の割合であり、「運転しない」のは20%であった。

(2) エコドライブについて

①エコドライブの認知度

全体では、80%から、エコドライブという言葉を知っていたとの回答であった。各年代にわたって、男性の認知度が高い傾向にあり、特に30代男性の認知度は90%を超えている。また、「車を運転していない」と回答したグループの認知度が、他に比べて低かった。



②「エコドライブ」について、実践している内容

「エコドライブ10のすすめ」の項目を列挙したところ、既に実践している項目としては、「ふんわりアクセル『eスタート』（やさしい発進）」（53%）、「加減速の少ない運転」（51%）が半数を超えていた。

項目	割合	項目	割合
1. ふんわりアクセル『eスタート』	53%	6. 暖機運転は適切に	26%
2. 加減速の少ない運転	51%	7. 道路交通情報の活用	17%
3. 早めのアクセルオフ	42%	8. タイヤの空気圧をこまめにチェック	30%
4. エアコンの使用を控えめに	36%	9. 不要な荷物は積まずに走行	29%
5. アイドリングストップ	41%	10. 駐車場所に注意	41%

③今後のエコドライブへの取り組みについて

「全ての項目について実践したい」（30%）、「いくつかは実践したい」（64%）を合わせると、90%以上の方が、エコドライブを今後実施しようと考えている。「実践したくない」と答えたのは、1%（4名）であり、「実践するのが面倒であるため」、「燃費（燃料代）が気にならないため」、「気持ちよく運転したいから」という理由であった。